慶福萬来

太田泰史君　恭子さん
結婚　おめでとう

大塚(岡西)克子

あるお天気の良い平成４年10月吉日、我らが太田泰史君と梅影恭子さんの結婚式が同志社同窓会館で行われました。

新郎の友人席側には航空部関係が集まり、まるで同窓会のような賑やかさで、太田君の晴れの日にそれぞれ胸を熱くしました。(これを読んでいる皆さんも感無量でしょうが　私も感無量です…よかったネ太田君…)

式、披露宴と進むなか、太田くんは緊張している様子もなく、いつも以上に上機嫌で、友人に手を振ったり、目配せしたり、なんかやんちゃそうな花婿さんでした。(袴姿がりりしかったよお)

そして、それを見ている花嫁さんは、とても可愛らしく幸せでピカピカひかっていました。(恭ちゃん幸せになってネ　　知っている人も知らない人もいると思いますが、花嫁の恭子さんは私の友人です。披露宴の間、私は「２人のキューピット…」と連呼され、ちょっぴり得意でした)

２人のつきあいは大学時代から始まります。

あんなに合宿ばかりいっていた太田君によくそんな暇が…とお思いでしょうが、その通りで、３ヵ月間恭子さんに連絡をしなくて(もちろん合宿に行っていたそうです)ようやく電話をかけたら「あんた誰」(太田君　曰く)と言われたこともあるそうです。

まあ、そんなこんなものりこえてとうとう結婚なのですから、太田君にブラボーです。披露宴は、我らが航空部員の歌う同志社カレッジソングで締めくくられ、２人の未来の明るさを確信したのは私だけではないと思います。(本当に　よかったねえ…　しつこい私…)

さて　気になる今後の２人ですが…風のうわさでは太田君はなんだか幸せ太りと聞きました。可愛らしいけどしっかりものの恭子さんのことです。これからも上手に太田君をあやしていってくれることでしょうが…カロリーは控えめに

(平成１年文卒)

ご結婚おめでとう

中村悟志君 (昭和60年工卒)

平成３年11月17日挙式。新婦は旧姓小野祐子さん。京都女子大学文学部。航空部卒。媒酌は三浦智介　和子夫妻。

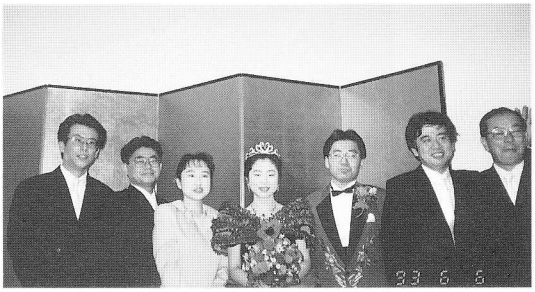
『毎日曜に三重航空協会の明野飛行場で ASK-21 のフライトを二人で楽しんでいる』と祐子夫人よりの案内です。

金石真一君(昭和60年工卒)

平成４年10月18日　広島にて結婚。新婦は旧姓白川須巳。京都女子大航空部卒。香川県出身。媒酌は三浦智介　和子夫妻。

小原義和君(昭和60年工卒)

平成５年６月６日。
新婦は旧姓佐藤静子さん
同じ日本無線に勤務されていた方とのこと。
甲子園みやこホテルにて挙式。



師匠、結婚する！
浮田勝也君

太　田　泰　史

同期でありながらも、私の《師匠》である浮田君の結婚式の報告をせよとのご指名がありましたので、披露宴で、新郎の会社の上司の方がお話されたエピソードの一つをご紹介させていただきましょう。

結婚が決まり、結納をひかえてルンルン気分の浮田君。２人の愛も燃え上がり、その時の彼は、まさに人生の絶頂期。向かうところ敵なし。恐いものなしです。

そして、調子にのったら、骨までしゃぶりつくしてしまう彼は、婚約指輪の購入資金を口座から引き出そうと会社の昼休みに抜け出したのでした。ウーン、なんと彼らしいことか。まさに学生時代からの彼のモットーである「時は金なり」の実践だ。時間にシビアというか(でも遅刻の常習です。初合宿から遅刻したのは彼だけです。)、姑息というか。(合宿の撤収日に、みんな大忙しで着替えもできていない時に、風呂にはいっていたのは彼だけです。)

これで終われば、ハッピー・ハッピーなのですが、本当に浮田君はやってくれる。途中でトラックに衝突して、救急車で病院へ。そして集中治療室。まさに九死に一生。死にそこなったのでした。正直なところ、肺に骨がささったとかで、あやうく《ジ・エンド》だったそうです。(しかし、そんな彼をクビにしない会社のなんと寛大であることか。もっとも採用した時点で、私は度胸のある会社だなと思いましたが。)

しかし、悪運も並の人間の10倍はある浮田君。かわいい新婦の美由紀さんの献身的な看病もあり、見事に復活。転んでもただでは起きず、闘病生活中に医者から「命が惜しいなら止めろ」と脅かされ、断つに断てなかったタバコも止めることができたのでした。

その他にもいろいろと暴露したいことはあるのですが、このへんで止めておきます。

なにはともあれ、お二人の幸福をこころから、お祈りいたします。

(平成１年法卒)

真ちゃんゴールイン

近藤信子・鈴木美穂

私たち3人の中で一番はやく結婚すると思われていた山本真子さんこと真ちゃんが、予想どおり、平成4年11月21日に、池田晴彦さんとめでたくゴールインされました。

私たちは、真ちゃんからお相手の池田さんは、あの「スヌーピー」に似ていると何度となく聞かされていましたが、ご本人にお会いしてびっくり。そっくりさんでした。2人の結婚式は、スヌーピー(もちろん池田さんのこと)とポメラニアン(真ちゃんのこと)の結婚式という感じで、とてもカワイイ花嫁さんでした。

池田さんは、色白だったので、「ムムム…オタッキーなヤツか？」と思いましたが、どーしてどーして、こよなくサッカーを愛する、その腕前(足前？)もバリバリというスポーツ青年で、サッカーをするのに、現在住んでいる名古屋から大阪へ、毎週のようにやってくるという方でした。

真ちゃんは私たちに池田さんのことを話す時は、「いけだっちがどーのこーの」と言っていたのが、「スヌーピーが…。」と言うようになり、今では「ピーは…。」などとけしからぬ言い方をしています。

ところで、今、真ちゃんの結婚のご報告をしているわけですが、実は昨年(平成5年)12月に男の子を出産されました。名前は勝紀(かつのり)くんと言います。とってもあいそのよい、ふっくらとしてベイビーです。今はまだ小さいので、誰似なのかわかりませんが、大きくなったら、スヌーピー顔かな？それともポメラニアン系、それとも2人に似てないコリー系、あるいはブル系になるのか、たのしみですねっ。ちかちゃん！

(昭和63年法・文卒)　近藤信子・鈴木美穂

テルミックに乗って上昇中

乱気流3人娘物語Iは翔友IVに、そしてIIは翔友VIIに掲載され喝采をはくした。今、IIIに及んで遂に真ちゃんゴールイン。

コップ破りの信子、レトロ自転車の美穂、巾広顔の真子が、アフリカに遊んだ頃は精々気球の操縦士に熱を上げる位だったのに、今や真ちゃんはピーにゾッコン。

乱気流から1人抜け出し夢のテルミックを掴んで目下上昇中とはニクイ。ニクイ。

どうぞ末長くお幸せに。グッドラック。